

平成22年度第2回県立病院運営評議会

平成23年2月3日(木)
特別会議室(議会棟3階)

1 開 会

2 議 事

(1) 第Ⅱ期病院事業交付金について

[資料]

◇病院事業交付金

資料1

◇欠席委員からの御意見

資料5

(2) 第Ⅱ期県立病院改革プランについて

[資料]

◇第Ⅱ期中央病院改革プラン(案)

資料2

◇第Ⅱ期厚生病院改革プラン(案)

資料3

◇第Ⅰ期改革プランの達成状況と第Ⅱ期改革プランの目標

資料4

◇欠席委員からの御意見

資料5

3 意見交換

4 閉 会

病院事業交付金の推移

H17以前の5年間



H18～H22(第1期)



H23～H27(第2期)

【111.4億円】

【89.6億円】(△21.8億円)

【82.6億円】(△7億円)

【不採算部門】

繰出基準に沿って
収支差補填

【不採算部門】72.4億円

運営費 48.1億円

繰出基準に沿って収支差補填

■H16実績をベース

■診療単価はH17・H18年度
平均値

H18はマイナス改定(▲1.36%)

【不採算部門】64.1億円

運営費 50.8億円

繰出基準に沿って収支差補填

■H21実績をベース

■診療単価はH22で固定

H22はプラス改定(+1.55%)

※影響額 約2千万円

医療機器購入
(1件査定)

医療機器購入 ⇒ 年間5億円 枠
※交付金には元利償還金の1/2を
算入
24.3億円

医療機器購入 ⇒ 年間5億円 枠
※交付金には元利償還金の1/2を算入
13.3億円

【共済費追加費用等】 17.2億円

■H18見込みベース

共済費追加費用等 18.5億円

■17.2億円+増加見込分×1/2

子ども手当 57百万円(23年度)
※毎年精算

施設整備(1件査定)

施設整備(1件査定)

施設整備(1件査定)

主な増減

(主な増要因)

○繰入基準追加 4.3億円

・周産期医療確保経費
中病 0.3億円

・院内保育所運営経費
両病院 1.1億円

・感染症医療確保経費
両病院 2.9億円

○救命救急センター運営費
収益精査 6.4億円

○ICU運営経費
厚病体制拡充 2.5億円

○看護師育成事業経費
両病院体制強化 2.8億円

(主な減要因)

◇高密度看護経費
廃止 △10.5億円

◇企業債元利償還金
電カル償還分 △10億円

◇PET分返還 △1.7億円

病院事業交付金繰出基準の見直し概要

【3条予算】

項目	積算の考え方	中病	厚病
看護師養成所経費	・院内講師経費 ・臨床実習指導経費 ・併任発令職員人件費 ・看護教員養成研修受講者の研修期間中給与	○	○
救急医療確保経費	救急医療施設運営費－救急医療収益	○	○
救命救急センター運営費	(救命センター運営費－救命センター医業収益) × 16/20 + 空床確保経費	○	○
ICU運営費	ICU運営費－ICU医業収益＋空床確保経費		○
保健衛生行政経費	・集団検診経費＋受託検査経費＋各種審査会 ・委員会等行政協力経費 ・本庁統括管理経費(病院局総務課人件費 × 1/2)	○	○
研究研修費	研究研修費(医師、看護婦、医療技術等) × 1/2	○	○
企業債償還利子	企業債償還利子 × 2/3 (H15以降の借入分は1/2)	○	○
高度・特殊医療			
結核病床確保経費	結核病床運営費－結核病床収益＋空床確保経費	○	
未熟児診療経費	未熟児診療運営費－未熟児診療収益＋空床確保経費	○	○
放射線治療経費	放射線治療運営費－放射線治療収益	○	○
集中治療管理経費	(救命センター運営費－救命センター医業収益) × 4/20	○	○
病理解剖経費	病理解剖費用	○	○
骨髄移植経費	骨髄移植経費－骨髄移植収益	○	
高密度看護経費	・(実所要看護婦人件費－診療報酬積算看護婦人件費) × 1/2 (※) ・(医療法等基準超過看護婦人件費－高密度看護実施加算診療報酬) × 1/2	○	○
リハビリテーション医療経費	リハビリテーション医療経費－リハビリテーション医療収益	○	○
共済費追加費用	共済費追加費用 × 10/10	○	○
基礎年金拠出金公的負担経費	基礎年金拠出金公的負担経費 × 10/10	○	○
児童手当経費	児童手当特例給付分 × 10/10	○	○

【3条予算】

項目	積算の考え方	中病	厚病
看護師養成所経費	・院内講師経費 ・臨床実習指導経費 ・併任発令職員人件費 ・看護教員養成研修受講者の研修期間中給与	○	○
救急医療確保経費	・救急医療施設運営費－救急医療収益 ・上記運営費に診療援助医師の賞金(厚病)、ヘリポート運営費を追加	○	○
救命救急センター運営費	(救命センター運営費－救命センター医業収益) × 16/20 + 空床確保経費	○	
ICU運営費	ICU運営費－ICU医業収益＋空床確保経費		○
保健衛生行政経費	・集団検診経費＋受託検査経費＋各種審査会 ・委員会等行政協力経費 ・本庁統括管理経費(病院局総務課人件費 × 1/2)	○	○
研究研修費	研究研修費決算額 × 1/2	○	○
企業債償還利子	企業債償還利子 × 2/3 (H15以降の借入分は1/2)	○	○
未熟児診療経費	未熟児診療運営費－未熟児診療収益＋空床確保経費	○	○
結核病床確保経費	結核病床運営費－結核病床収益＋空床確保経費	○	
リハビリテーション医療経費	リハビリテーション医療経費－リハビリテーション医療収益	○	○
① 周産期医療確保経費	MFICU運営費－MFICU医業収益＋空床確保経費	○	
① 院内保育所運営経費	院内保育所運営費－院内保育所収益	○	○
① 感染症医療確保経費	感染症医療施設運営費－感染症医療収益＋空床確保経費	○	○
高度・特殊医療			
放射線治療経費	放射線治療運営費－放射線治療収益		○
病理解剖経費	病理解剖費用	○	○
骨髄移植経費	骨髄移植経費－骨髄移植収益	○	
集中治療管理経費	(救命センター運営費－救命センター医業収益) × 4/20		
高密度看護経費	・(実所要看護婦人件費－診療報酬積算看護婦人件費) × 1/2 ・(医療法等基準超過看護婦人件費－高密度看護実施加算診療報酬) × 1/2		
共済費追加費用	共済費追加費用 × 10/10	○	○
基礎年金拠出金公的負担経費	基礎年金拠出金公的負担経費 × 10/10 ※H24年度まで		○

交付金枠から除外
※毎年度精算

子ども手当経費	子ども手当分(0～3歳未満) × 13/20 子ども手当特例給付分(3歳以上中学校3学年終了) × 10/10	○	○
---------	--	---	---

【4条予算】

建設改良費	(建設改良費－企業債等特定財源) × 1/2	○	○
企業債元金償還金	・病院建設企業債償還元金 × 2/3 (H15以降の借入分は × 1/2) ・医療機器購入等企業債償還元金 × 2/3 (")	○	○

【4条予算】

建設改良費	・(建設改良費－企業債等特定財源) × 1/2	○	○
企業債元金償還金	・病院建設企業債償還元金 × 2/3 (H15以降の借入分は × 1/2) ・医療機器購入等企業債償還元金 × 2/3 (")	○	○

病院事業交付金 積算・比較表

項目	第1期交付金(H18~22)A			第2期交付金(H23~27)B			差引(B-A)			主な増減理由等
	中央病院	厚生病院	合計	中央病院	厚生病院	合計	中央病院	厚生病院	合計	
看護師育成事業経費	132,180	149,840	282,020	283,940	285,295	569,235	151,760	135,455	287,215	・臨床実習指導者経費(単価、兼務率)の見直しによる増 ・教員養成講習会に毎年1名派遣
救急医療確保経費	294,511	191,288	485,799	368,065	63,270	431,335	73,554	▲128,018	▲54,464	
救急救命センター運営費	378,675 (1,156,788)	92,725	471,400 (1,249,513)	1,114,840	0	1,114,840	736,165 (▲41,948)	▲92,725	643,440 (▲134,673)	(中病)収益計算の精査による増 (前回は医業収益が「救急医療確保」と2重に計上されていた)
ICU運営経費		82,067	82,067	0	336,910	336,910	0	254,843	254,843	(厚病)ICU体制の拡充による増
保健衛生行政費	21,025	25,140	46,165	16,400	11,885	28,285	▲4,625	▲13,255	▲17,880	
本庁統括管理費	111,575	80,275	191,850	77,835	56,000	133,835	▲33,740	▲24,275	▲58,015	
集中管理治療経費	37,299	0	37,299	0	0	0	▲37,299	0	▲37,299	(中病)救命救急センター運営費に統合したことによる減
放射線治療経費	67,003	49,104	116,107	0	9,870	9,870	▲67,003	▲39,234	▲106,237	(中病)PET運営費分の減
未熟児診療経費	465,414	393,033	858,447	333,025	369,110	702,135	▲132,389	▲23,923	▲156,312	
結核病床確保経費	615,492	0	615,492	587,895	0	587,895	▲27,597	0	▲27,597	
病理解剖経費	12,015	3,505	15,520	29,210	1,440	30,650	17,195	▲2,065	15,130	(中病)業務実態に合わせて積算方法を見直したことによる増
骨髄移植経費	74,102	0	74,102	62,870	0	62,870	▲11,232	0	▲11,232	
高密度看護経費	678,515	371,645	1,050,160	0	0	0	▲678,515	▲371,645	▲1,050,160	廃止
リハビリテーション経費	219,283	132,230	351,513	250,095	246,610	496,705	30,812	114,380	145,192	リハビリ体制の充実による増
研究研修経費	82,529	47,139	129,668	88,510	56,420	144,930	5,981	9,281	15,262	
(新)周産期医療確保経費				34,290	0	34,290	34,290	0	34,290	繰出基準の追加による増
(新)院内保育所確保経費				37,620	69,000	106,620	37,620	69,000	106,620	〃
(新)感染症医療確保経費				179,300	113,360	292,660	179,300	113,360	292,660	〃
小計(a)	3,189,618 (3,967,731)	1,617,991	4,807,609 (5,585,722)	3,463,895	1,619,170	5,083,065	274,277 (▲503,836)	1,179	275,456 (▲502,657)	
機器整備に係る経費(b) (企業債元利償還金)	1,381,191	1,054,541	2,435,732	873,443	641,054	1,514,497	▲507,748	▲413,487	▲921,235	電子カルテの整備に係る企業債元利償還分の減等
共済費追加費用	922,879	530,681	1,453,560	1,083,293	650,390	1,733,683	160,414	119,709	280,123	負担率の上昇による増(前回99.8/1,000→今回118.5/1,000)
基礎年金拠出公的負担経費	104,102	148,944	253,046	0	120,836	120,836	▲104,102	▲28,108	▲132,210	経営状況の改善による減
子ども手当	5,675	7,725	13,400							総枠設定の交付金→枠外
小計(c)	1,032,656	687,350	1,720,006	1,083,293	771,226	1,854,519	50,637	83,876	134,513	
調整	▲225	▲122	▲347	▲172,896	▲18,185	▲191,081	▲172,671	▲18,063	▲190,734	第2期交付金の調整は次の理由による (中病)PET及び運営費分の返還 (厚病)救急用CT分の返還
病院事業交付金合計	5,603,240	3,359,760	8,963,000	5,247,735	3,013,265	8,261,000	▲355,505	▲346,495	▲702,000	

※()内の数値は、収益の2重計上(救命救急センター)がなかった場合の額

(単位:千円)

※次期交付金(5年)における総額の計算	運営費	5,083,065
	機器整備に係る経費	1,514,497
	共済費追加費用等	1,854,519
	PET返還等(調整)	▲191,081
	合計	8,261,000